

授業科目

対人コミュニケーション論（介護福祉コース用）

担当教員名 五十嵐 紀子	対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース用）
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

前期の「コミュニケーション学概論」での学びを発展させ、夏期に行ったデイサービスでの現場実習を振り返る。グループワークにより、実習での経験を語り合い、そこから、新たな気づきを得たり、再認識したりする。

授業の目的

対人コミュニケーションの理論を現場実習での体験と重ね合わせながら、自己理解、他者理解についての学びを深める。実社会におけるコミュニケーションの基礎力をつけ、より良い人間関係の形成のための素地を作ることを目的とする。

また、将来介護福祉士として介護現場のリーダーとしてだけではなく、介護業界を率いることができる資質を磨いていくために必要な、様々な物事の見方、考え方を得ようとする意識づけを行う。

学習目標

1. 対人コミュニケーションの理論を理解する
2. 介護実習での体験に理論を当てはめ考察できる
3. コミュニケーションの基礎力をつけ、実践しようとする
4. より良い人間関係の形成のための素養を高める

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	・「コミュニケーション学概論」の復習 ・実習の振り返り（グループワーク）	五十嵐 紀子
2	ステレオタイプへの気づき	・実習の振り返り（グループワーク） ・発表とディスカッション	五十嵐 紀子
3	非言語（時間と空間）	・実習の振り返り（グループワーク） ・発表とディスカッション	五十嵐 紀子
4	自己理解と他者理解	・マンガで描く認知症の世界 ・グループディスカッション	五十嵐 紀子
5	「説得」の理論と納得を得る方法	・「伝説のスピーチ」の動画視聴 ・スピーチ理論 ・介護マンガをスピーチ理論に基づき分析（グループワーク）	五十嵐 紀子
6	利用者の理解と支援	・「回想法」に関するビデオ視聴 ・ディスカッション	五十嵐 紀子
7	介護におけるコミュニケーションの課題	・ディスカッション	五十嵐 紀子
8	まとめ		五十嵐 紀子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	よくわかるヘルスコミュニケーション	池田理知子、五十嵐紀子	ミネルヴァ書房	2016年	2,400円+税	
その他の資料	ハンドアウト 授業にて配布					

評価方法

レポート試験70%、グループディスカッションや発言など授業への参加30%

履修上の留意点

グループワークが中心となるので、積極的に、かつ、自由にディスカッションすることを心がけ、また、それを楽しんで下さい。

オフィスアワー・連絡先

原則として、メールでアポイントを取ってから（日時のお約束をしてから）いらして下さい。
メールでの相談や質問は、いつでもOKです。

研究室：J406（J棟 4F）

メール：igarasi@nuhw.ac.jp